



桜の森白子ホーム開設1周年に際して

桜の森白子ホームは、学校法人鈴鹿医療科学大学が母体となって社会福祉法人サマスを立ち上げ、この社会福祉法人によって設立され、昨年(2015年)10月10日に開設致しました。社会福祉法人サマスのサマスの(SUMS)というのは、鈴鹿医療科学大学の英語名 Suzuka University of Medical Science の頭文字をとった略語です。

大学には医療福祉学科があり福祉に関わる専門の先生方がいるとは言え、実際に施設運営の経験はありませんでした。そのような中、デイサービス、ショートステイを含め施設を順調に運営し、地域の方々の信頼と評価を勝ち得ているのは、西川施設長、伊藤事務長をはじめとするスタッフ、職員が一丸となつて、利用者の方々に質の高いサービスを提供することを心がけ、努力を惜しまなかったからだと思います。

この施設は、大学生の実習の場として活用されていますし、学生がボランティアでお手伝いするなど、若い人との触れ合いが特色の一つでもあります。大学が作ったという意義を再認識し、大学との関わりを密にして積極的に展開していくなら、もつともっと素晴らしい施設となることができると確信しています。今後とも皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の1周年に際しての挨拶と致します。

社会福祉法人サマス会 理事長 高木 純一



開設2年目を迎えるにあたって

平成27年10月10日に桜の森白子ホームがオープンし、大きなトラブルもなく無事に1年が経過いたしました。これもひとえに、利用者・ご家族・職員・地域住民の温かいご理解とご協力のおかげです。感謝申し上げます。

鈴鹿医療科学大学が特別養護老人ホームを開設するという事で、最新のケアを受けられるのではという鈴鹿市民の期待を一身に受け、責任の重みを感じながらも、職員一丸となって仕事に邁進してきました。この1年間の事業内容は、入居部門は6ヶ月で満床になり80名の入居者が2階と3階で生活をしています。在宅部門のショートステイとデイサービスも定員になるの間もなくです。

また、社会福祉法人の社会貢献の一環として、「家族みまん。」(地域の若年性認知症者と家族のためのサロン)と「ホリデー子ども広場」(施設職員の子どものための託児所)の活動も定期的に行ってきました。このように、桜の森白子ホームの運営は、まがりなりにも伸びてきていますが、表面的なものであり、決して中身が充実しているとは言えません。施設の基本理念である「利用者・家族・職員みんなの笑顔があふれる施設を目指します。」には、まだまだ到達できていません。とにかく働くのが楽しいと思える職場になれば、職員にも笑顔が生まれ、自然と利用者のご家族に広がっていくのではと思っています。

2年目からは、働くのが楽しい・やりがいがあると感じてもらえるような職場環境を組織全体で作っていきたくと考えています。知恵と力を出し合い、みんな(高齢者はもちろん若者や子どもたちも)が利用したい施設づくりを目指していきましょう！

桜の森白子ホーム 施設長 西川 潤子



8.6 夏祭り

第1回桜の森白子ホームの夏祭りを開催いたしました。それぞれのユニットでたこ焼きやかき氷、フランクフルト、ネイルサロン、ゲームなどの露店を出して皆さんに楽しんでいただきました。



4.4~6 お花見

歩いて10分くらいのところに、桜の森公園という広い公園があります。遊歩道があつてその周りにたくさんの桜の樹があります。かなり大きな桜の樹もあり、皆さんで桜の花をバックに記念写真をとりました。



桜の森市場

月1回古市商店さんに移動販売に来ていただいております。皆さんそれぞれお買い物を楽しんでいます。お菓子や果物・日用品など品揃えはかなり豊富です。



9.10 鈴鹿げんき花火

白子新緑地公園で打ち上げられた花火を、当施設のベランダに出て楽しみました。そよそよ心地よい夜風に吹かれながら、ちょうどよく見えるところに打ち上がる様々な色の花火に歓声を上げながら夏の終わりの夕べを過ごしました。



桜の森カフェ

玄関を入っていただいた1階ホールの一隅にコーヒーを飲んでいただけるコーナーがあります。コーヒーは一般の方は一杯100円ですが、シルバー割引の方は50円で楽しんでいただけます

売店もオープンしました。お菓子や日用品が並んでおります。ぜひご利用下さい。

社会福祉法人サマス会 桜の森白子ホーム
〒513-0816 鈴鹿市南玉垣町 7300-2
TEL 059-373-4650

ユニット紹介

鳥のまち3丁目

「おはようございます」の掛けとともに一日がスタートします。ユニット内のキッチンで職員が作るみそ汁のにおいに誘われて、早起きされる方もみえますし、8時30分過ぎにリビングの方にゆっくりと起きてみえる方もあります。

「あなたらしさ」をモットーに生活スタイルを強制することなく、ゆったりとした生活時間を過ごしていただいています。一番の特色としては、入居者の方々が現役の頃に趣味として活動していただいた頃の、水墨で描かれた掛け軸や、名カメラマンの時に撮られた写真などが飾ってあります。また、ユニット玄関にあるふくろうの花瓶に季節の花や飾りなどで季節感を感じていただいています。ベランダから見える鈴鹿の町並みや、心地よい風が穏やかな気分にくれます。

ユニットの目標も「**絶えず笑顔で感謝**」でスタッフ一同、入居者様の笑顔を引き出せるよう明るく笑顔で支援させていただいております。

◆ユニットリーダー自己紹介



鳥のまち3丁目のリーダーを担当させていただいてから1年になります。宇佐美さゆりと申します。介護の仕事は30年以上になりますが、自分自身ゼロからのスタートだと思っています。入居者の方々と関わる時間は自然体でいられるように、一、生き生きと前向きでいること。一、明るくいつも笑顔で支援していくこと。一、気づかいが、さりげなくできること。向上心を忘れずに、目標を持って歳を重ねていけたらと思っています。

入居者の方の俳句紹介

秋もはや釣えさ獲る人ただひとり
夕暮れの太鼓のひびく祭り前

三輪文雄 作



皆さんと一緒にストレッチ体操を行っています。



洋風ちらし寿司作りをしました！



調理レクリエーションとして餃子作りに挑戦しました。鍼灸の王先生の指導のもと中国の餃子を作りました！



桜の森公園に出かけました。天気にも恵まれ、春の風、小鳥のさえずり、ピンクの桜達が皆さんを迎えてくれました



鳥のまち2丁目

「ゆったりと、その人らしく自然と暮らせるユニット」を目指しています。男性が4名、女性が6名で生活されており、私達は、人生の先輩として尊敬の念をもって接し、介護をさせていただいております。入浴や食事の時間をかけていただき、徘徊をされる方もご本人が行いたいように、制限を設けず、危険や他の入居者の迷惑にならないように見守りをさせていただいております。また、入居者同士で楽しく会話をしてみえる方もありますし、スタッフとの会話を楽しみにしてみえる方もいらっしゃいます。

安全で安楽を第一に、笑顔が絶えないユニットであることを心がけ、今後も入居者自身が何でも行えるように支援させていただきま

◆ユニットリーダー自己紹介



私、上山俊己は入居者様と職員がいつしよになつて楽しく、笑いの多いユニットを目指し日々奮闘しています。年齢は入居者の方に近いとだけしておきます。家にいる時の趣味は、笑いを求める為に、綾小路きみまろのDVDを良く観る事です。他にも、スポーツ、ドライブ等・・・etc。家族は、奥様一人、息子一人で、最近孫が一人できたところです。もう一人家族がいたのですが、少しづつらい思いをしたことがありました。座右の銘は・・・「君が憂いに我は泣き、我が喜びに君は舞う」です（ちよっとカッコつけ過ぎてます）。これからも、すべての人の為に役に立ちたいと思っています。

お好み焼き作り



横山やすしのお好みはうまいで〜！（若い頃よく似ていると言われたそうです）

これで若返ってもう一度嫁に行けるかなあ？

花火を見る為に建てたようなもんじゃな

花火をさかにな一杯はうまいなあ



花火鑑賞



マッサージ体験

外出(黒ひげ珈琲)



ご飯食べたあとやけど、ケーキは別腹！